



Q 今回新たに補助を行うこととした、耐風改修工事及び耐震シエルター設置工事はどのような場合が対象となるのか？

A 耐風改修工事については、耐震診断に併せて耐風診断を行った後、耐震改修工事と併せて耐風改修工事を行う場合が対象となる。

耐震シエルター設置工事については、愛媛県が指定した業者が耐震シエルター設置工事を行う場合を対象としており、部屋の内部を補強するパターンと、既製品を購入して組み立てるパターンがある。



北条新田高松線の現地調査

Q 北条新田高松線道路改良事業において、児童・生徒及び高齢者への安全対策はどのように講じられるのか？

A 歩道と隣接する田畑などとの高低差が1メートル以上ある箇所に転落防止柵を設置するとともに、国道196号及び臨港道路北条線に接続する交差点や横断歩道が設置される交差点には、道路照明灯を設置する予定である。

木造住宅耐震改修事業について

産業建設委員会・分科会での

主なQ&A

6/12 開催
付託議案 4件
請願 1件

北条新田高松線
道路改良事業について

ごみ対策調査特別委員会 調査報告

令和7年3月18日及び6月16日に委員会を開催し、次期ごみ処理施設の整備方針について、委員会としての一定の方向性を見いだすため、調査を実施しました。

設して、本市に中継施設を設ける場合でも、単独整備と比較して、20年間の事業費で約18億円の削減が見込まれる、との答弁がありました。

所管部署からは、次期ごみ処理施設の整備方針については、現在、新居浜市と広域化の協議を行っており、令和7年6月には両市とも一定の方針を決めた

と考えている、との説明がありました。また、単独整備及び広域整備のメリット、デメリットについて説明がありました。

更に、市職員で構成する道前クリーンセンター整備検討委員会において、広域整備の方針で進めることが望ましいという意見が大多数を占めたため、市としては広域整備の方針を進めることが望ましいと考えている、との説明がありました。

・今後の人口減少に併せてごみの量も減っていくため広域整備の方針が進めるのが望ましい
・単独整備より広域整備のほうが費用を削減できるため広域整備の方針を進めるのが望ましい
調査の結果、当委員会では、次期ごみ処理施設については、広域整備の方針を進めることで意見の一致を見ました。

説明に対し、委員からは、広域整備と単独整備を比較した予算削減の見込みに対する質問があり、広域整備で新居浜市に建

その後、所管部署から、今後、新居浜市も広域整備の方針となった場合には、新居浜市と協議を行う推進会議を設置し、最終的な協議事項の全てに合意できれば、正式に広域整備することとなるが、合意できない事項がある場合などは、単独整備となることも考えられる、との説明がありました。